

令和2年9月29日

データサイエンス・オンライン講座 「社会人のためのデータサイエンス演習」の開講

総務省は、本日、統計リテラシー向上の取組として、将来の経済成長を担う“データサイエンス”力の高い人材育成のため、データサイエンス・オンライン講座「社会人のためのデータサイエンス演習」を開講します。
本講座は、実践的なデータ分析の手法を学習することができる講座です。

- 本日、データサイエンス・オンライン講座「社会人のためのデータサイエンス演習」を開講します。
- 本講座は、平成28年4月に開講し、延べ約3万9千人以上に受講していただきました。
ビジネスや行政での活用を想定した講座として、社会人や大学生に向けて、ビジネスや業務上での分析事例を中心に実践的なデータ分析（統計分析）の手法を分かりやすく解説します。
- 本講座紹介用ウェブサイト（<https://gacco.org/stat-japan2/>）で11月29日（日）まで、どなたでも受講登録が可能（登録料及び受講料無料）ですので、是非御活用ください。

※ 本講座は、令和元年5月に実施した講座を再び開講するものです。

（別添資料）

別紙 データサイエンス・オンライン講座「社会人のためのデータサイエンス演習」の概要

（連絡先）

統計局統計情報利用推進課

担当：本橋課長補佐 山田主査 高田主査

電話：03-5273-1023（直通）

FAX：03-3204-9361

E-mail：y-senryaku_atmark_soumu.go.jp

（スパムメール防止のため、「@」を「_atmark_」と表示しています。メールを送る際に「_atmark_」を「@」に直して入力してください。）

講座の目的：ビジネス上での分析事例を中心に
実践的なデータ分析（統計分析）の手法を習得する

開 講 日：令和2年9月29日（火）

学 習 時 間：1回10分程度×5～6回程度（1週間）×5週

課 題：各週の確認テストと最終課題の実施

講 師：データサイエンスに携わる専門家、大学教授、
総務省統計局職員



週	各週のテーマ	内 容
1	データサイエンスとは	データサイエンスが必要とされる背景やデータ分析に基づく問題解決プロセスを紹介
2	分析の概念と事例	記述統計によるデータの把握と比較方法について学習
3	分析の具体的手法	相関関係等の2変数の関係や時系列データの解釈について学習
4	ビジネスにおける予測と分析結果の報告	回帰分析による予測や分析結果の報告と解釈について学習
5	ビジネスでデータサイエンスを実現するために	ビジネスでデータサイエンスを実現するためのポイントについて解説

▶ 講座の流れ



講師による説明動画でデータサイエンスを分かりやすく解説

各週の確認テストにより理解度を確認、最終課題により習熟度を確保

確認テスト及び最終課題の得点率により修了証を取得

▶ これまでに開講したデータサイエンス・オンライン講座

<p>「社会人のためのデータサイエンス入門」</p> <p>(講座の特徴) データ分析の基本的な知識を学べる入門編講座</p> <p>(開 講 時 期) 平成27年3月、11月 平成28年3月※、12月 平成29年5月※ 平成30年5月、11月※ 平成31年4月※ 令和元年10月、12月※ 令和2年5月、9月※</p> <p>(学 習 時 間) 1回10分程度×6～9回程度 (1週間)×4週</p> <p>(実 績) 社会人を中心に延べ 約112,000人が受講</p>	<p>「社会人のためのデータサイエンス演習」</p> <p>(講座の特徴) 「社会人のためのデータサイエンス入門」を踏まえ、より実践的な内容へ</p> <p>(開 講 時 期) 平成28年4月、11月※ 平成29年11月 平成30年6月※ 令和元年5月、10月※</p> <p>(学 習 時 間) 1回10分程度×5～6回程度 (1週間)×5週</p> <p>(実 績) 社会人を中心に延べ 約39,000人が受講</p>	<p>「誰でも使える統計オープンデータ」</p> <p>(講座の特徴) 公的統計の基本的な知識とデータ分析の実践的な手法を学び、統計オープンデータの活用へ</p> <p>(開 講 時 期) 平成29年6月、10月※ 平成30年12月 令和2年1月</p> <p>(学 習 時 間) 1回10分程度×5～7回程度 (1週間)×4週</p> <p>(実 績) 社会人を中心に延べ 約20,000人が受講</p>
--	--	--

※特別開講：参考として動画の閲覧のみ可能な講座